

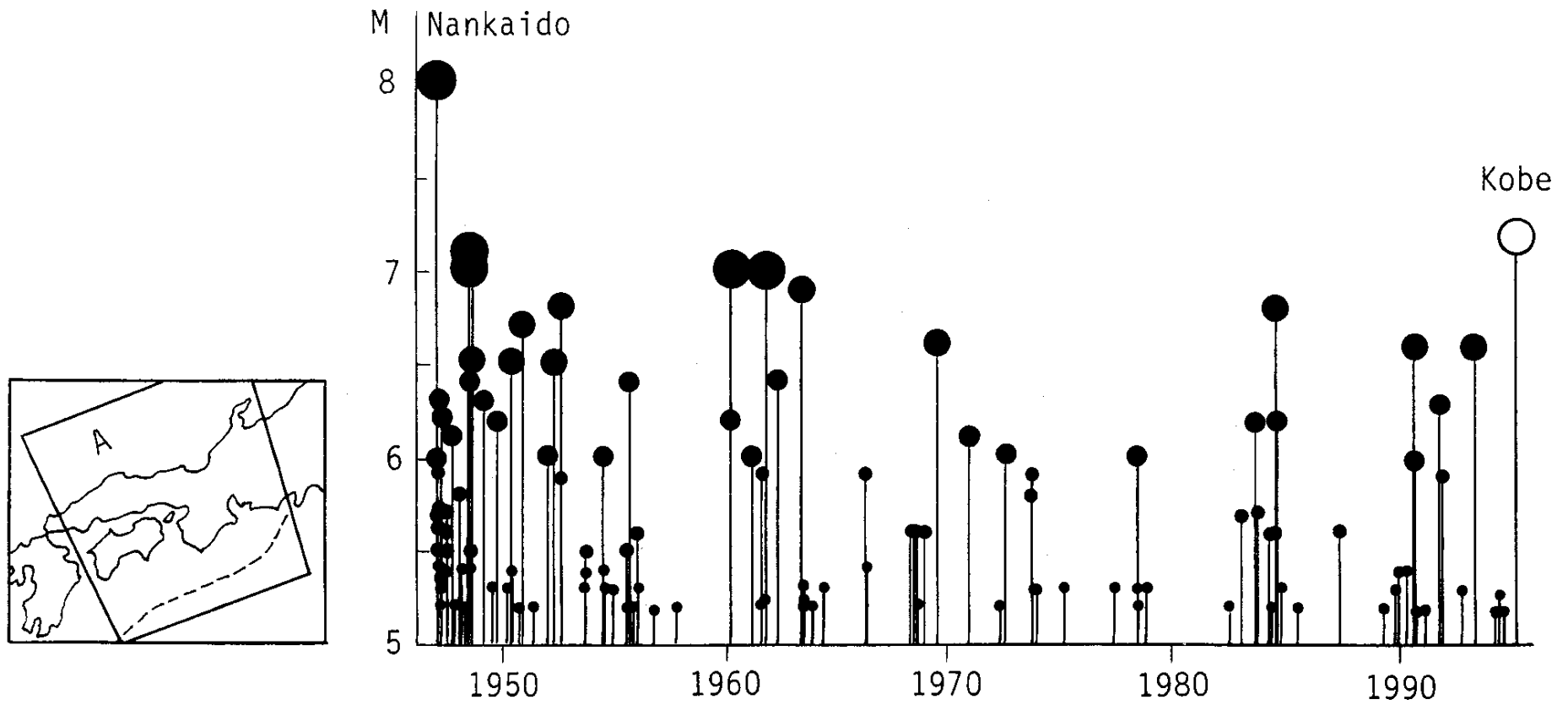
7 - 3 兵庫県南部地震前の地震活動（続報）

Seismic activity before the 1995 Hyogoken-nanbu earthquake (2)

日本大学 茂木清夫

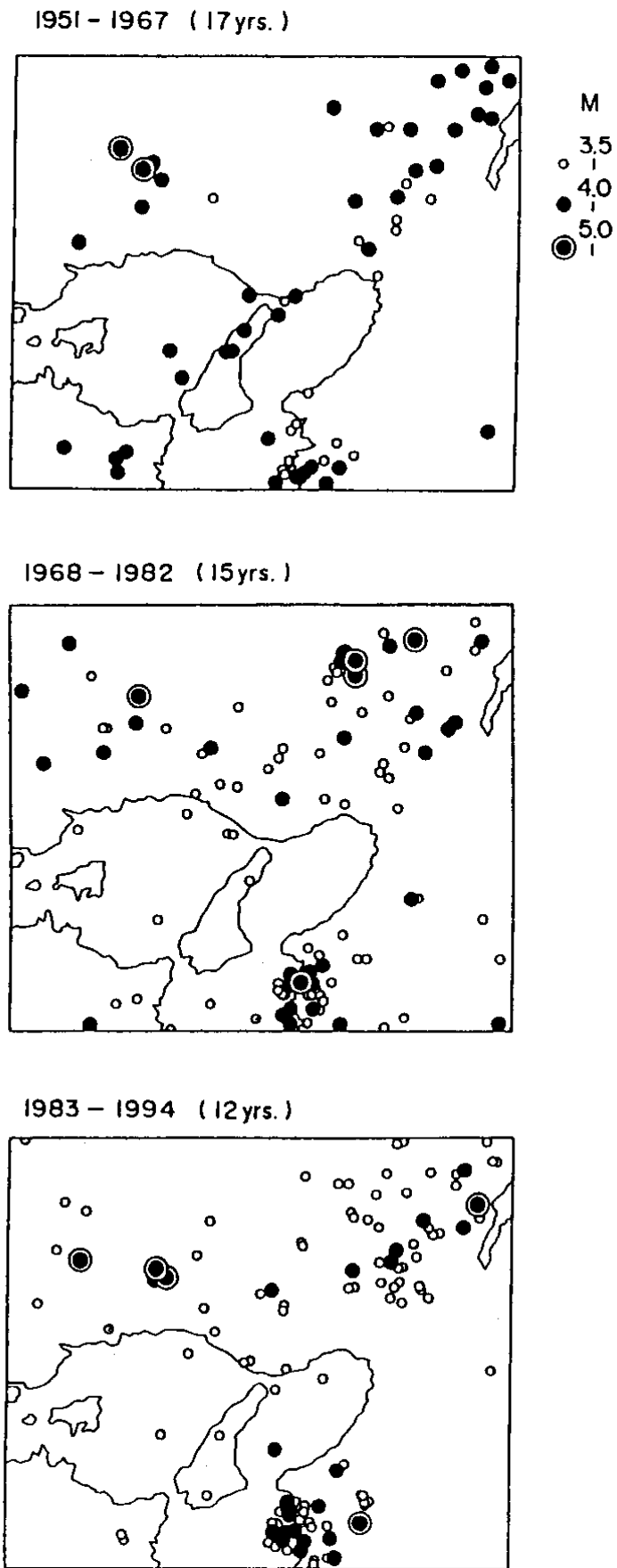
Kiyoo Mogi, Nihon University

1995年1月17日の兵庫県南部地震前の地震活動について、前回に続いて報告する。第1図は九州を除く西日本について、1946年の南海道地震以降の地震活動の時間的経過をM-Tグラフによって示す。南海道地震のあと次第に活動が低下してきて、1970年代には非常に静穏になったが、1980年代の中頃から活動度が高まっていた所に、今回の地震が起った。過去のこの地域の地震活動の経過から見ると、次の活動的な期間に入った可能性がある。第2図は1951年以降の3つの期間についてM3.5以上の地震の震央分布を示した。今回の震源域では1967年までは、M4以上の地震が多発していたのに、その後は起っていないこと、但し、M3.5~3.9の地震は1983年以降何回か起っていることがわかる。第3図は震源域とそこごく周辺で起った地震の時空間分布図である。1968年頃からの静穏化がよくわかる。第4図は地震予知連絡会が1978年に見直した観測強化地域と特定観測地域指定の図に、それ以降内陸乃至沿岸部で発生したM6.5以上の地震をプロットしたものである。この期間に発生した10の地震のうち8回がこの指定区域内で起った。（地域指定にあたっては沖合の大地震は対象に入っていない）。阪神地区は予知連発足時の1970年にすでに指定されていた。この図にある要警戒地域指定の図は毎年国土庁から出版されてきた防災白書などに明記されてきたものである。



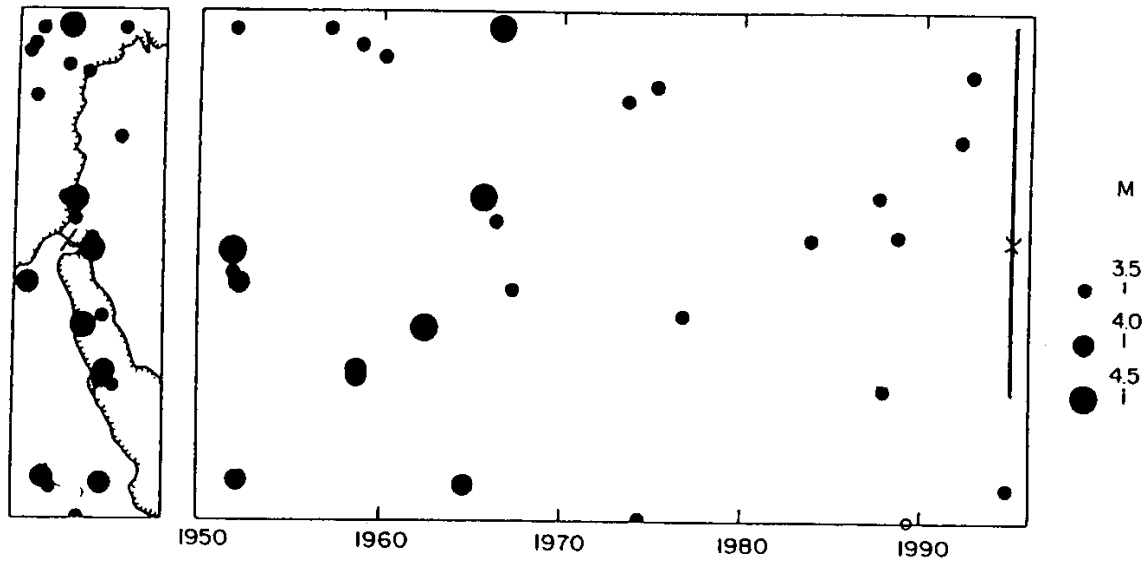
第1図 1946年南海道地震以降，図中のAと示した西日本で発生した地震のM - T図

Fig. 1 M-T graph of earthquakes which occurred in western Japan (Region A in the left figure) since the 1946 Nankaido earthquake. (Data from JMA)



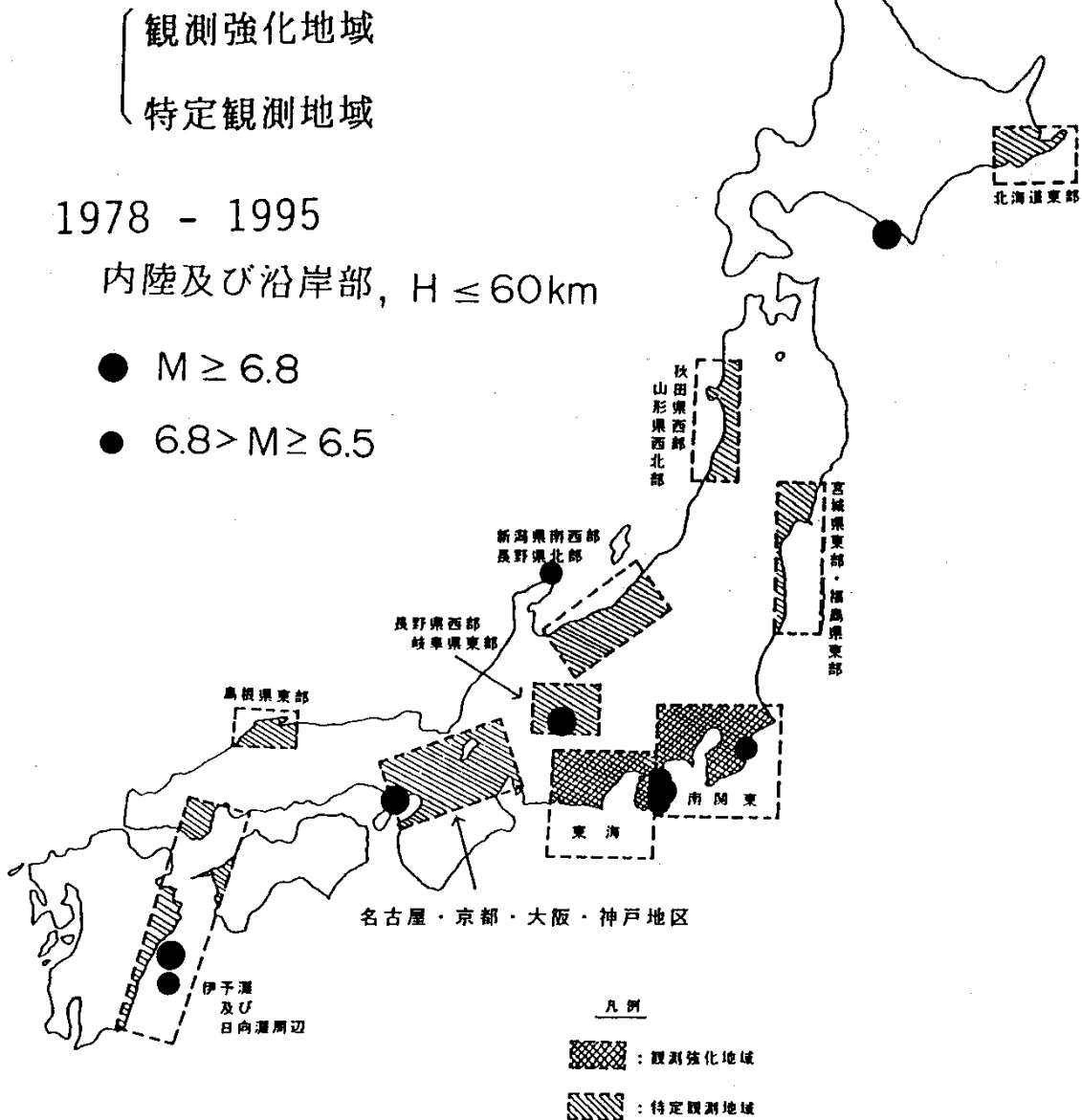
第 2 図 1951 年以降の 3 つの期間の兵庫県南部地震の震源域及びその周辺の地震の震央分布図

Fig. 2 Epicentral distributions of earthquakes which occurred in and around the focal region of the 1955 Hyogoken-nanbu earthquake in successive periods since 1951. (Data from JMA)



第3図 兵庫県南部地震の震源域（及びそのごく周辺域）で大地震前に起った地震の時空間分布図
 Fig. 3 Space-time distribution of earthquakes, which occurred in the focal region of the 1995 Hyogoken-nanbu earthquake, before the large earthquake. (Data from JMA)

地震予知連絡会 1978



第4図 1978年に地震予知連絡会が指定した観測強化地域及び特定観測地域と1978から1995年までに内陸乃至沿岸部で発生したM6.5以上の地震の震央分布。兵庫県南部地震は特定観測地域内で起った。

Fig. 4 Areas of Intensified and Specified Observation designated by the Coordinating Committee for Earthquake Prediction, and epicenters of earthquakes of M6.5 and larger which occurred in land and coast areas of Japan during the period (1978-1995)